

# 日本酒と水のおいしい関係

～灘・伏見の戦い?～

日時 2026年1月24日(土)

14時00分～16時30分 [開場 13:30]

会場 関西大学梅田キャンパス 8階ホール

参加費 1,500円 [関西大学学生は無料]



梅田キャンパス地図

## パネリスト (登壇順)

伏見酒造組合技術委員長、月桂冠(株)専務取締役

**秦 洋二**

関西大学環境都市工学部特命教授、元学長

**楠見晴重**

剣菱酒造株式会社代表取締役社長

**白樺政孝**

名城大学外国語学部准教授

**畠 有紀**

関西大学総合情報学部特任教授

**小野田美都江**

※休憩時間に剣酒をしていただきます。

## 司会

関西大学名誉教授

**黒田 勇**



定員 130名 (先着申込み順)

申込みは右のQRコードから入り、予約登録の上、参加費1,500円をお支払いください。  
(クレジットカードまたはコンビニ支払いです)

上記方法が困難な場合は、下記メールでの予約を受付けます。

お問合せ先 研究会事務局・黒田 kurodaisamu@gmail.com / 090-1024-3377



## パネリスト・プロフィール

伏見酒造組合技術委員長、月桂冠(株)専務取締役

**秦 洋二**



1960年大阪生まれ、京都大学農学部卒。農学博士。酒史学会長、日本醸造学会副会長。2013年～2018年 伏見醸友会代表幹事（地下水保存委員長）、2010年先端技術大賞特別賞、2018年美しき酒と人のアワード（初代）

剣菱酒造株式会社代表取締役社長

**白樺政孝**



1977年生まれ。1999年甲南大学経営学部卒業、同年剣菱酒造株式会社入社。2006年農産物検査員合格。2012年プロデューサーとしてグッドデザイン賞受賞、2017年代表取締役社長就任。

名城大学外国語学部准教授

**畠 有紀**



2015年、名古屋大大学院満期退学。博士（文学）。ストラスブル大客員研究員、新潟大学特任助教などを経て、2025年4月より現職。専門は日本文学、日本文化史。2022年、石川松太郎食文化研究奨励賞受賞。

関西大学総合情報学部特任教授

**小野田美都江**



東京都出身。アサヒビール(株)を定年退職。東京大学大学院学際情報学府修了。博士（学際情報学）。アルコール政策、女性と飲酒など、「酒の飲みよう」を巡る研究。2025年4月より現職。

関西大学環境都市工学部特命教授・元学長

**楠見晴重**



1980年関西大学大学院修了。工学博士。2009年～2016年関西大学学長。専門は地盤工学、地下水工学。京都盆地の地下水の研究は第3回「世界水フォーラム」で紹介。前土木学会副会長。令和2年度文部科学大臣表彰・科学技術賞受賞。

## フォーラム概要

2024年12月、ユネスコの無形文化遺産として日本の「伝統的酒造り」が選定されました。

室町時代から酒造りを始めた京都伏見や兵庫県の灘五郷は酒どころとして知られ、関西は日本の酒文化の中心といつても過言ではありません。その酒造産業を支えたのは、関西の豊かな「水」であり、また豊かな歴史文化資源と人的資源でした。

…

そうした豊かな自然と文化、そして産業をもつ関西に焦点を当て、その豊かな「酒文化」と「水」について、様々な角度からアプローチし、その歴史と現在を語り合うことで、関西だけでなく日本の酒文化の理解をさらに深めていただきたいと思います。

…

まず、月桂冠(株)の秦洋二専務取締役が、京都伏見の酒造りの歴史とその特徴をお話します。次に、楠見晴重教授が地形・地質を研究する地盤工学の観点から伏見、灘で使われている仕込み水の特徴について解説します。さらに、江戸時代、日本酒といえば「剣菱」と江戸では一般名詞化していた剣菱酒造株式会社の白樺政孝社長から江戸で「下り酒」として名を馳せた剣菱の魅力を語っていただきます。

…

次に、日本酒の文化史研究者である名城大学の畠有紀准教授が、江戸時代の酒文化について解説します。さらに、元アサヒビール勤務で関西大学特任教授の小野田美都江氏からは現代の飲酒の「功罪」について語っていただきます。

…

それぞれの専門的知見だけでなく、広く一般の方々にも「酒と水」、そして京阪神の魅力についての理解を深めていただくための話題を提供できればと思います。

月桂冠と剣菱の提供による「下り酒」もお楽しみに。

## 関西大学食文化研究会について

人類の食文化について、会員の専門分野から多様なアプローチで議論する研究会として活動しています。

2006年、関西大学の教職員の有志で学部を越えた緩やかな親睦会として発足しました。そして、会員の大半が退職した2022年度より現名称とし、これまでの研究で得た知見を持ち寄り、それを社会に還元すべく、定期的にセミナーやシンポジウムを開催しています。何よりも会員たちが楽しいと思うことを周囲の人たちと共にしたいという思いからの活動です。

（会長・楠見晴重）